



H-UV、封止材 3.6GW出荷

封

封止材製造の中国・H-UV
マテリアルズ・テクノロジー
ーが業績を伸ばしている。

PID対策を施したという新型封止材を拡販、13年の封止材の出荷量は前年比1.8倍の4500万㎡、発電規模換算で約3.6GW相当に達したという。売上高は前年比ほぼ倍増の5.3億人民元（約85億円）にのぼった模様。今年からフッ素系フィルムなども製品化し、中国市場で提案を強めていく。

同社は、太陽光発電用の封止材を中インリー・グリーンエナジーや中トリナソーラーなどに販売している。封止材の年産能力は6000万㎡で、

中国国内で「12%以上」（全楊副総経理）の販売シェアを持つ。

全楊副総経理は、「多様化するニーズに応じるため、品揃えを増やしている。封止材は、通常の汎用型とPIDフリー型、さらに裏面ガラスモジュール用の白色型の3種類。最も売れているのはPIDフリー型だ。汎用品よりも価格は10%高いが、出荷比率はPIDフリー型が全体の60%を占めている」という。

今年4月には年産能力150万㎡のバックシート工場を稼働させ、体制で、6月にはフッ素系フィルムを年産能力1800万㎡まで拡張して量産する計画だ。

